公安委員会定例会議（第26回）の開催状況

第１　日　時　令和８年10月28日（水）
午後２時10分　～　午後４時13分

第２　出席者　小野委員長、佐伯委員、五葉委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長、総務課長

第３　議事の概要

１　決裁事項

⑴　公安委員会定例会議会議録

総務室から、令和８年第25回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。

⑵　組織関係条例の改正

警務部から、組織関係条例の改正について伺いがあり了承した。

⑶　審査請求の申立て

警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。

⑷　監査委員による委員監査の結果

警務部から、監査委員による委員監査の結果について伺いがあり了承した。

⑸　警察職員等の援助要求（４件）

警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

⑹　運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、18件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

２　報告事項

⑴　令和８年度愛媛県警察官採用候補者試験実施結果等

警務部長から、令和８年度愛媛県警察官採用候補者試験実施結果等について報告があった。

委員から「警察官の試験に合格する資質がありながら、辞退する方が出るのは、極めて惜しいことだ。内定式などの辞退防止対策を講じていただいているが、今後も継続して優秀な人材の確保に努めていただきたい」との発言があった。

委員から「試験合格者が最終的な採用に至るよう、最後までフォローアップを継続するなど、今後も辞退者を生じさせない対策に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から「現役警察官と一緒に活動することができる山岳警備隊の体験入隊は、専門的な知識や技能を持った受験者を増やす上で、非常に意義があると感じる。このようなイベントが、今後も開催されることを期

待する」との発言があった。

⑵　金融機関等に対する特別防犯指導「ＣＰＰ作戦」の実施

生活安全部長から、金融機関等に対する特別防犯指導「ＣＰＰ作戦」の実施について報告があった。

委員から「年末は、多くの人が気忙しくなり隙が生じやすくなる。コンビニや金融機関などと連携しながら、ＣＰＰ作戦を強力に推進していただきたい」との発言があった。

委員から「万が一事件が発生した際には、店員等の対応も重要である。平素から連携して訓練を行うなど、対応力の強化にも努めていただきたい」との発言があった。

委員から「ＣＰＰ作戦が実施されることを広く周知することで、犯行の抑止にも効果があると思われる。適切に広報して犯罪の未然防止に努められたい」との発言があった。

⑶　令和８年度上半期（４月～９月）における機動捜査分析課の運営状況

刑事部長から、令和８年度上半期（４月～９月）における機動捜査分析課の運営状況について報告があった。

委員から「運営状況や実績を見れば、機動捜査分析課発足の効果が挙がっていることがよく分かる。今後も適切な運営により、検挙率の向上に繋がることを期待する」との発言があった。

委員から「防犯カメラの捜査は有効であり、それを効果的に活用する機動捜査分析課の重要度は非常に高いと感じる。更なる活躍を期待する」との発言があった。

委員から「ＡＩなどの高度な資機材の活用や専門的な知識を有する人材の育成などを推進し、更に活躍されることを期待する」との発言があった。

⑷　令和８年度全国警察柔道剣道大会結果

教養課長から、令和８年度全国警察柔道剣道大会結果に関する報告があった。

⑸　県内秋祭りに伴う警備実施結果

生活安全部長から、県内秋祭りに伴う警備実施結果について報告があった。

⑹　サイクリングしまなみの交通対策等実施結果

交通部長から、サイクリングしまなみの交通対策等実施結果について報告があった。

⑺　「ＰＨＰ」の脆弱性及び不正アクセスに伴う情報漏えい事案に関する報告

警備部長から、「ＰＨＰ」の脆弱性及び不正アクセスに伴う情報漏えい事案に関する報告があった。

委員から「被害に遭った企業に対し、犯人側から身代金が要求されたというニュースを聞いた。県警は、対策のアップデートを確実に実施して、被害に遭わないよう最善を尽くされたい」との発言があった。

以　上